



静岡大学ゆかりの会 メールマガジン

～静大探検隊～ 第1話

皆さん、こんにちは。静岡大学ゆかりの会でございます。

6月のメールマガジンでお知らせしましたが、この度公認サークルの静岡時代編集部さんのご協力のもと新たなテーマでメールマガジンを配信することになりました。タイトルは「**静大探検隊**」。学生の目線から大学に落ちている謎や疑問、または大学内で働いている人などを解明・発掘し、静大の魅力を配信していきます。それでは第1話をお楽しみください。

先月のメールマガジンでは、静岡時代編集部と静岡大学広報・基金課の職員さんとの新企画打ち合わせの様子をお届けしました。

その打ち合わせの際にふと、誰かが言ったのです。

「人文社会科学部棟って、そういえばD棟が無いよね？」と。

人文社会科学部生に聞いても「たしかに……」という反応のみ。え、こわい。

そこで私たちは、この突如ぽっかりと現れた大学の謎に迫ることにしました。

題して「人文D棟の謎」。

初回は、教育学部4年の松山明日香がレポートします。



【DAY1】現状を確認しよう！

大学に関する資料はおいおい確認するとして、最初なのでとりあえず現地確認を試みましょう。



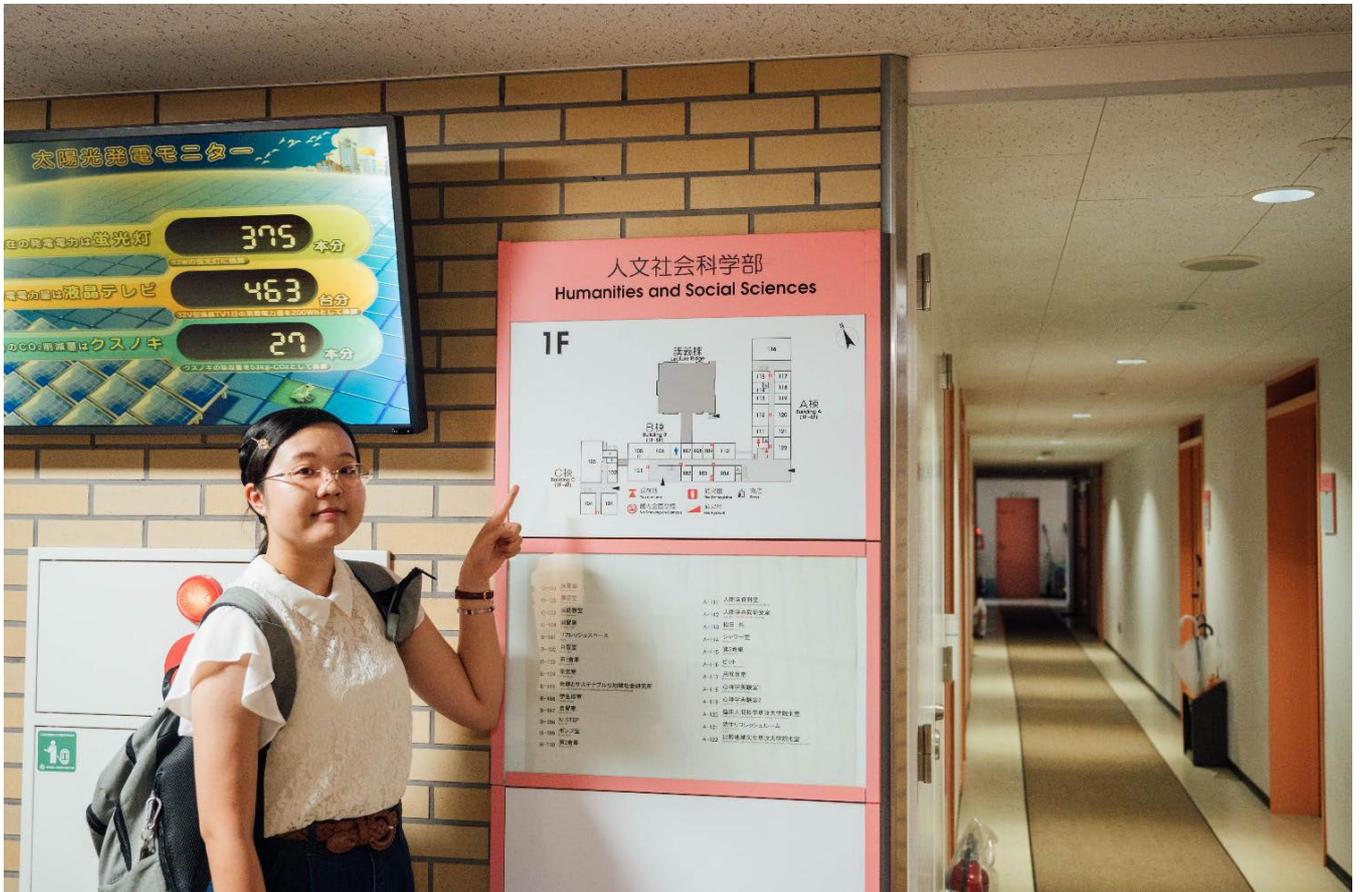
はい、静大の山頂にある人文棟にやってきました。



雨風日差しにさらされて看板もぼんやりしています。
(この日も最高気温39℃をマークした静岡市)



こちら人文A棟入口のプレートです。



人文A棟に入るとエレベーター前に、A棟からC棟の位置関係が示されていました。

3つの棟がつながっていることがわかります。



A棟を出て、外からも3つの棟の位置関係を確認します。



人文B棟の外にあった看板。位置関係はこういうことだそうです。

(この看板もがんばってる感……！)

静大頂上にある人文棟はA・B・C棟までしかないと確認しました。

それでは、下の方にある人文棟にも行ってみましょう。

A、B、Cときて次は……



うーん、やっぱり人文E棟。
なぜだ……。

実際の建物を見て、人文棟はA・B・C・E棟が存在し、D棟がないことを確認しました。

なにか痕跡はないものかと、念のため人文E棟のまわりをチェックしましたが、何ともありませんでした。



何もないといいつつ、人文E棟の裏には意味をなしていないガードレールがあり、「このキャンパスの謎は深い……」と一同見えない何かに思いを巡らせるのでした。

人文D棟はなぜないのか、なぜE棟なのか。

メールマガジン読者の皆さんからの情報もお待ちしています。

[情報提供はこちらから](#)

次回は大学の歴史や施設整備関係の資料をあたる予定です（変わるかもしれません）。

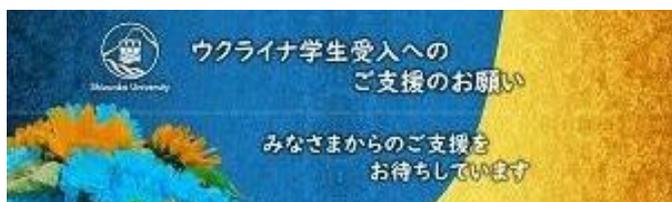
引き続き、ゆる〜くお付き合いいただけたら嬉しいです。

静岡時代編集部では、別の企画もはさみつつ、今後もメールマガジンにてこの調査の進捗をお届けしていきます。

[静岡時代ウェブサイト](#)

いかがでしたでしょうか。今後は今回のような企画や学生・教職員へのインタビューなどを月に1回配信していきます。大学内のニュースやイベントも別に月1回配信していきますので、そちらも変わらずご覧いただけますと幸いです。今後とも静岡大学ゆかりの会をどうぞよろしくお願いいたします。

— リンク一覧 —



◇お問い合わせ

静岡大学 広報・基金課 基金係

TEL:054-238-5183

Email:yukarinokai@adb.shizuoka.ac.jp

※本メールマガジンを無断転載することは禁止されております。

※メールマガジン ニュース・イベント投稿フォームは [こちら](#)から

※メールマガジンの配信停止（ゆかりの会の退会）は [こちら](#)から